動作環境（本機）

- パソコン
  以下のOSを標準インストールしたIBM PC/AT互換機専用です（日本語版標準インストールのみ）。
  Windows XP Home Edition（Service Pack 2以降）/Windows XP Professional（Service Pack 2以降）/Windows XP Media Center Edition 2004（Service Pack 2以降）/Windows XP Media Center Edition 2005（Service Pack 2以降）/Windows Vista Home Basic/Windows Vista Home Premium/Windows Vista Business/Windows Vista Ultimate
  64ビット版のOSには対応しておりません。
  上記以外のOSでは動作保証いたしません。
- CPU：Pentium III 450 MHz以上（Windows Vistaの場合 Pentium III 800 MHz以上）
- メモリ：128 MB以上（Windows Vistaの場合 512 MB以上）
- ハードディスクドライブ：200 MB以上（1.5 GB以上を推奨）の空き容量が必要です。
  Windows のバージョンによってはそれ以上使用する場合があります。また、音楽のデータを扱うための空き容量がさらに必要です。
- ディスプレイの設定：800 x 600 ピクセル以上（1024 x 768 ピクセル以上を推奨）、High Color（16 ビット）以上（256以下では正しく動作しない場合があります）
- CD-ROMドライブ：WDMによるデジタル再生機能に対応しているドライブが必要です。
  さらに音楽CD/ATRAC CD/MP3 CDの作成を行うためには、CD-R/RWドライブが必要です。
- サウンドボード
- USBポート（Hi-Speed USB推奨）
- Internet Explorer 6.0以上がインストールされている必要があります。
- CDDBやインターネット音楽配信サービス（EMD）を利用する場合や、SonicStageでバックアップしたデータを復元する場合は、インターネットへの接続環境が必要です。
- 上記の環境を満たすすべてのパソコンでの動作を保証するものではありません。
  また、以下のシステム環境での動作保証はいたしません。
  自作パソコン/標準インストールされているOSから他のOSへのアップグレード環境/マルチブート環境/マルチモニタ環境/Macintosh
- 本機を自作パソコンに接続し、数秒以内に本機画面が点灯しない場合は、本機をすぐに取り外してパソコンのUSB電源配線に間違いがないかご確認ください。そのまま使い続けると、本機が過熱し故障します。

3-291-852-**01** (1)

SONY

取扱説明書

NW-E023F / E025F / E026F

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この「取扱説明書」と「詳細操作ガイド（PDF）」、別冊の「安全のために」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。よくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

マニュアルについて

本機の操作は、「取扱説明書」のほかに、「詳細操作ガイド（PDF）」（付属のCD-ROMに収録）とSonicStageのヘルプ（SonicStageの[ヘルプ]メニューから参照）などで説明しています。

– **取扱説明書**：準備から再生までの基本的な操作の説明と困ったときの対処方法の説明
– **詳細操作ガイド（PDF）**：各機能の使いかたや設定方法、困ったときの対処方法の説明
– **SonicStageのヘルプ**：本機で音楽を楽しむために使うSonicStageの操作についての説明
– **安全のために**：事故を防ぐための重要な注意事項の説明

詳細操作ガイド（PDF）を見るには

– 16ページの手順に従ってインストール後、Windowsのスタートメニューから「スタート」—「すべてのプログラム」—「SonicStage」—「NW-E020Fシリーズ操作ガイド」の順にクリックします。
– Adobe Acrobat Reader 5.0以降、またはAdobe Readerが必要です。
Adobe Readerはインターネットから無償でダウンロードできます。

最新の情報を見るには

ウォークマン カスタマーサポートのホームページでは、ご質問やトラブルの解決方法、本機またはSonicStageについての最新情報を掲載しています。
http://www.sony.co.jp/walkman-support/

目次

付属品を確かめる

箱から出したら、付属品がそろっているかご確認ください。

□ ヘッドホン(1)

□ ヘッドホン延長コード(1)

□ イヤーピース(Sサイズ、Lサイズ)(各サイズ2個1組)

□ スタイルアップ®パネル(1)

□ スタイルアップ®パネル用USBキャップ(1)

□ CD-ROM*(1)

　– SonicStageソフトウェア

　– 詳細操作ガイド(PDF)

□ 取扱説明書(本書)(1)

□ 安全のために(1)

□ 保証書(1)

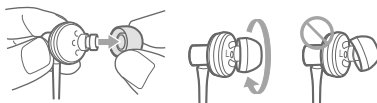
□ ソニーご相談窓口のご案内(1)

□ カスタマー登録のお願い(1)

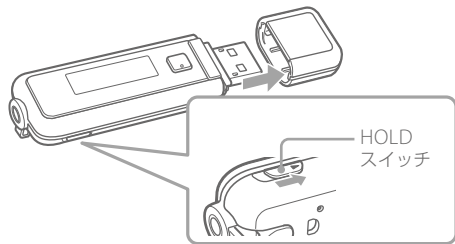
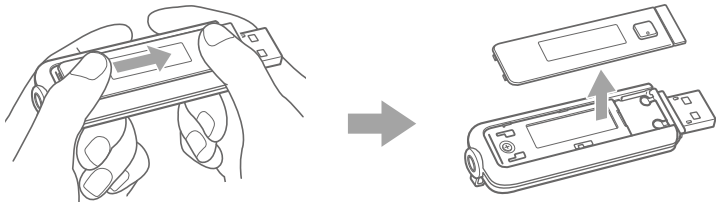
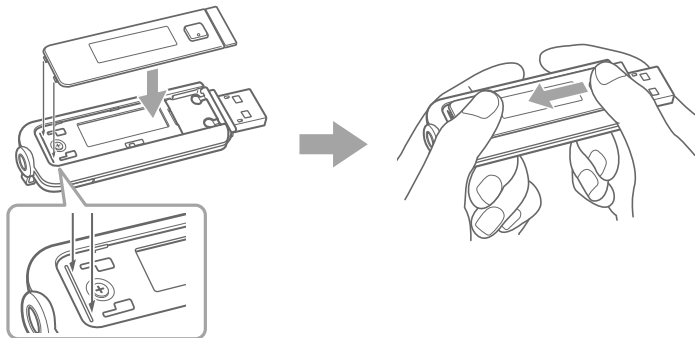
* 音楽CDプレーヤーでは再生しないでください。

イヤーピースの正しい装着方法

イヤーピースが耳にフィットしていないと、低音がよく聞こえないことがあります。より良い音質を楽しんでいただくためにはイヤーピースのサイズを交換したり、おさまりの良い位置にするなど、ぴったりと耳に装着させるようにしてください。お買い上げ時には、Mサイズが装着されています。サイズが耳に合わないと感じたときは、付属のLサイズやSサイズに交換してください。

イヤーピースがはずれ耳に残らないよう、イヤーピースを交換する際にはヘッドホンにしっかり取り付けてください。取り付けを確実にするためにイヤーピースを回転してください。

スタイルアップ®パネルをつけかえる

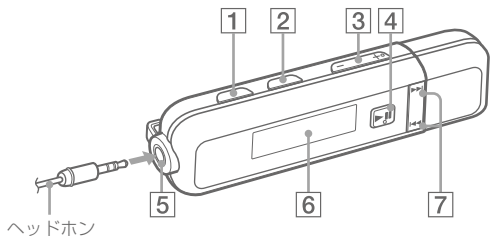
本機では、スタイルアップ®パネルやUSBキャップをつけかえることができます。

1 **HOLDスイッチを矢印の方向（▷）にスライドして、操作ボタンを働かなくしてから、USBキャップを取りはずす。**

2 **スタイルアップ®パネルを、下図のように取りはずす。**
スタイルアップ®パネルを矢印の方向に少しスライドさせてから、上に持ち上げて取りはずします。

3 **付属のスタイルアップ®パネルを、下図のように取り付ける。**
本体の合わせ位置に合わせてスタイルアップ®パネルを上から置き、スライドさせて取り付けます。

4 **付属のスタイルアップ®パネル用USBキャップを取り付ける。**

ご注意

- 本機を使用するときには必ずスタイルアップ®パネルを装着してください。
- スタイルアップ®パネルは正しく取り付けてご使用ください。正しく取り付けられていないと、スタイルアップ®パネルが浮いた状態となり、操作ボタンが反応しなくなることがあります。
- スタイルアップ®パネルの取り扱いにはご注意ください。スタイルアップ®パネルが変形すると、本機に装着できなくなったり、ボタン操作ができなくなったりする場合があります。
- スタイルアップ®パネルの中に埃などの異物が入ってしまった場合は、乾いた布などで拭いて取り除いてください。

各部の名前

本体表面

1 PLAY MODE/SOUND*1ボタン

再生方法を切り換えます。
押したままにすると、音質設定が変わります。

2 📁/HOME*1ボタン

曲の再生／一時停止画面で、曲操作モード／フォルダー操作モードを切り換えます。曲操作モードでは、曲を曲単位で頭出しすることができます。また、フォルダー操作モードでは、曲をアルバム／アーティスト単位で頭出しすることができます。表示部に♫と◎(曲の並び順をアルバム名順にしている場合)のどちらが表示されているかで、曲操作モードかフォルダー操作モードかが確認できます。
押したままにすると、ホームメニューが表示されます(☞12ページ)。

3 VOL+*2/−ボタン

音量を調節します。

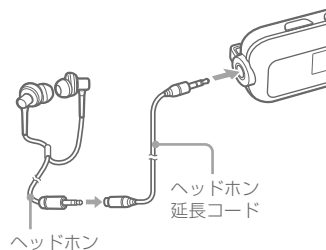
4 ►II*2ボタン

表示部に►が表示され、再生が始まります。もう1度押すとIIが表示され、再生が一時停止します。

5 ヘッドホンジャック

ヘッドホンまたはヘッドホン延長コードを接続します。
「カチッ」と音がするまで差し込みます。
ヘッドホンが正しく接続されていないと、再生音が正常に聞こえません。

ヘッドホン延長コードを使うとき

クリアステレオ機能をヘッドホン延長コードを使うときに最適な設定に変更することをおすすめします。詳しくは「詳細操作ガイド(PDF)」をご覧ください。

6 表示部

☞11ページをご覧ください。

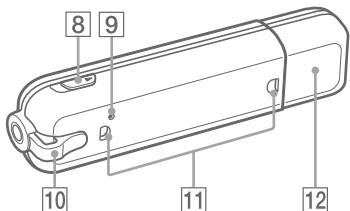
7 I◄◄/►►Iボタン

曲またはアルバム、アーティスト、メニュー項目を選びます。
また、以下の操作で曲／アルバム／アーティストの頭出しや早送り／早戻しを行えます。

- I◄◄ (►►I)を短く押す
  再生中の曲／アルバム／アーティスト(次の曲／アルバム／アーティスト)を頭出しします。
- **曲操作モード中での再生中にI◄◄(►►I)を押したままにして、止めたい場所で手をはなす**
  再生中の曲を早戻し(早送り)します。
- **一時停止後すぐにI◄◄(►►I)を押したままにする**
  一時停止中の曲／アルバム／アーティスト(次の曲／アルバム／アーティスト)、前の曲／アルバム／アーティスト(さらに次の曲／アルバム／アーティスト)を連続して頭出しします。

*1 本体上のボタン近くにある○はボタンを押すと使える機能、⬭はボタンを押したままにすると使える機能です。

*2 凸点(突起)が付いています。操作の目印としてお使いください。

本体裏面

ホールド
8 HOLDスイッチ

誤ってボタンが押されて動作することを防ぎます。
HOLDスイッチを矢印の方向(▷)にスライドすると、操作ボタンが働かなくなります。ホールド中に他のボタンを押すと、「HOLD」が表示されます。HOLDスイッチを逆の位置にスライドすると、ホールドが解除されます。

リセット
9 RESETボタン

クリップなどの細い棒でRESETボタンを押すことで本機をリセットできます（☞26ページ）。

10 ストラップ取り付け口

ストラップ（別売り）を取り付けます。

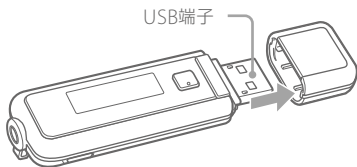
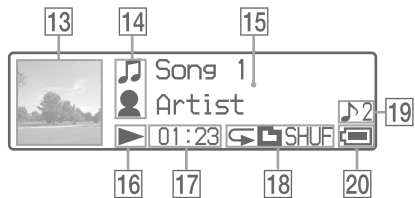
11 アクセサリー取り付け部

アクセサリー取り付け部に対応した、アクセサリー（別売り）を取り付けます。

12 USBキャップ

キャップを取りはずし、USB端子をパソコンと接続します。

キャップを取りはずすには

キャップは下図のように取りはずします。

表示部

表示部について詳しくは、「詳細操作ガイド（PDF）」をご覧ください。

13 ジャケット写真表示

SonicStageでアルバムのジャケット写真を登録して曲を転送すると、表示画面にアルバムのジャケット写真が表示されます。
プレイリストや曲に登録されたジャケット写真は、本機では表示されません。
ジャケット写真の登録の方法については、SonicStageのヘルプをご覧ください。

14 アイコン表示

15 文字情報／グラフィック表示

16 再生状態表示

現在の再生状態（▶：再生中、❚❚：一時停止中、◀◀（▶▶）：早戻し（早送り）、❙◀◀（▶▶❙）：現在の曲（次の曲）の頭出し）が表示されます。

17 経過時間表示

経過時間が表示されます。

18 再生方法（プレイモード）表示

現在の再生方法（プレイモード）のアイコンが表示されます。プレイモードが「Normal」に設定されている場合は、何も表示されません。

19 音質設定表示

現在の音質設定のアイコンが表示されます。音質設定が設定されていない場合は、何も表示されません。

20 電池残量表示

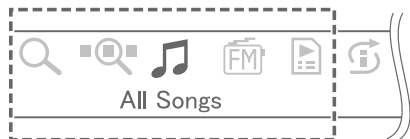
電池残量が表示されます。

ヒント

- ジャケット写真を表示させないときの表示については「詳細操作ガイド（PDF）」をご覧ください。

ホームメニューについて

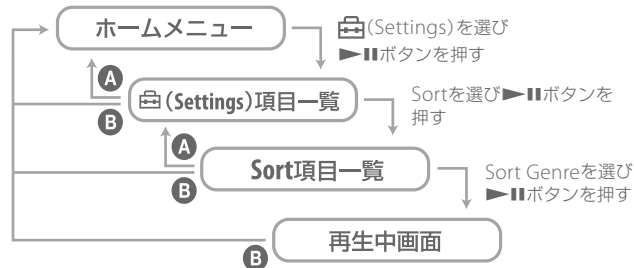
本機の 🗀/HOMEボタンを押したままにするとホームメニューが表示されます。
ホームメニューは、本機の各機能の入り口になり、曲の検索や設定変更などができます。

ホームメニュー *

* 選択できるアイコンの種類は最大7個あり、現在利用している機能によって変化します。一度に表示されるアイコンは最大で5個です。⏮/⏭ボタンを押して選択し、►‖ボタンを押して決定します。

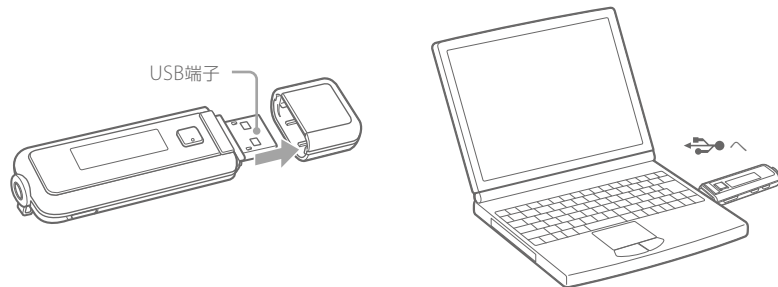
🔍	Search	本機内の曲を検索します。
	Jacket Search	本機内の曲をジャケット写真で検索します。
♫	All Songs	本機に転送したすべての曲を再生します。
	FM	FMラジオ放送を受信します。(☞24ページ)
	Playlist Select	プレイリストに登録されている曲を再生します。
	Intelligent Shuffle	本機内の曲をシャッフル再生します。
	Settings	設定メニューを表示します。

各機能の使いかたや設定方法、本機の応用操作について詳しくは、「詳細操作ガイド(PDF)」をご覧ください。

ホームメニューの操作について

ホームメニューにメニュー項目が表示されているときは、⏮/⏭ボタンで項目を選び、►‖ボタンで決定します。
ホームメニューのメニュー項目が表示されているときに、再度 🗀/HOMEボタンを押すと、1階層上のメニューに戻り、押したままにするとホームメニューに戻ります。
例えば、曲の再生中にホームメニューから(Settings)を選び曲の並び順を変えるときは以下のように画面が切り換わります。

Ⓐ 🗀/HOMEボタンを押す。
Ⓑ 🗀/HOMEボタンを押したままにする。

充電する

本機は起動しているパソコンと接続することで充電されます。
USBキャップを取りはずし、USB端子をパソコンと接続します。

電池の残量表示が Full になったら充電完了です。
初めてお使いになる場合や、しばらくお使いにならなかった場合は、Full が表示されるまで充電してください。電池を使い切った状態から約60分で充電が完了します。

お使いのパソコンに本機を直接接続できない場合は

専用USB接続補助ケーブルPC-U002を補修部品(有償)としてご用意しています。詳しくは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口へお問い合わせください。また、USBロゴのついたセルフパワーのUSBハブでもご使用になれます。

ご注意

- 本機をパソコンに接続しているときに、無理な力を加えないでください。本機やパソコンが破損することがあります。
- 電源を接続していないノートパソコンと本機を接続した場合、ノートパソコンのバッテリーが消耗します。本機を接続したまま長時間放置しないでください。

電源を入れる/切る

パソコンに接続しているときは、本機を操作することはできません。本機をパソコンからはずしてから操作してください。

電源を入れる

いずれかのボタンを押すと本機の電源が入ります。

電源を切る

►IIボタンを押して再生を一時停止すると、数秒後に「POWER OFF」が表示され、自動的に画面表示が消えて再生待機状態になります。再生待機状態では、電池の消耗はほとんどありません。

SonicStageをインストールする

次の手順に従って、SonicStageと本機の「詳細操作ガイド（PDF）」をインストールします。
すでにSonicStageがインストールされている場合は、今まで使っていた機能と音楽データは引き継がれ、上書きでインストールされます。念のため、SonicStageでバックアップをとることをおすすめします。

1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する。
インストール時には、Administrator権限、またはコンピューターの管理者でログオンしてください。

2 起動中のソフトウェアを終了する。
インストール中の負荷が大きくなったり、正しくインストールできない恐れがあるため、ウィルスチェックソフトを含め、すべての起動中のソフトウェアを終了してください。

3 パソコンのドライブに付属のCD-ROMを入れる。
インストーラーが自動的に起動し、メインメニューが表示されます。

4 SonicStageと詳細操作ガイド（PDF）をインストールする。
メインメニュー画面から［SonicStageインストール］をクリックし、表示される画面に従って操作してください。お使いの環境によっては、20 ～ 30分かかる場合があります。また、インストール後に再起動が必要な場合は、表示される画面に従ってパソコンを再起動してください。

「詳細操作ガイド（PDF）」をインストールするには

［ 詳細操作ガイド］をクリックし、画面の指示に従って操作します。

インストールできないときは

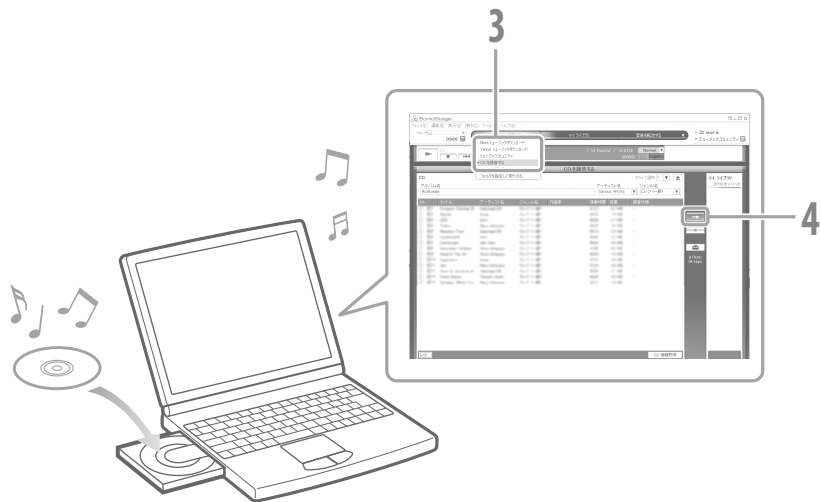
次の手順でご確認ください。

- 「故障かな？と思ったら」（☞26ページ）で調べてください。
- 「ウォークマン カスタマーサポート」のホームページで調べてください。SonicStageの最新情報などについてもご確認いただけます。
  http://www.sony.co.jp/walkman-support/

それでもインストールできないときは、巻末のソニーの相談窓口またはお買い上げ店へご相談ください。

SonicStageをお使いになるときのご注意について

SonicStageのヘルプ「SonicStageをお使いになる前のご注意」をご覧ください。

SonicStageを使って、パソコンに曲を取り込みます。ここでは、音楽CDの曲を取り込む方法を説明します。

1 デスクトップの SonicStage アイコンをダブルクリックする。
SonicStageが起動します。
初めて起動したときは、初回設定画面が表示されます。表示される画面に従って操作してください。

2 音楽CDをパソコンのドライブに入れる。
インターネットに接続しておけば、CD情報（曲名やアーティスト名など）があれば自動で取得できます。

3 ［音楽を取り込む］にポインタを合わせ、［CDを録音する］をクリックする。
CDを録音する画面が表示され、音楽CDの曲が一覧で表示されます。

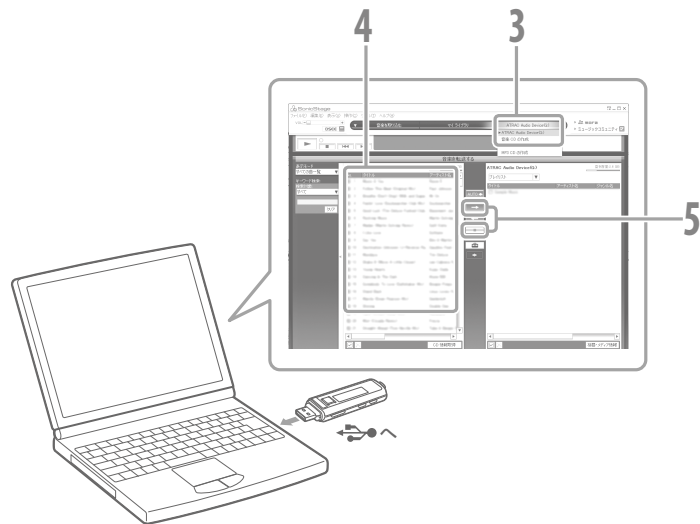
4 → をクリックする。
曲の取り込みが始まります。取り込みが終わると、曲単位で「録音済み」と表示されます。

ヒント

- SonicStageでは以下の操作もできます。
  - インターネット音楽配信サービスから曲を取り込んだり、すでにパソコンに保存している曲（MP3、WMA*、ATRAC、AAC*など）を取り込む。
    * 本機では、著作権保護されたWMA/AACファイルは、再生できません。
  - 音楽CDから曲を選んで取り込む。
  - 音楽ファイル形式とビットレートを変更する。

ご注意

- SonicStageを使用中（CD録音中、曲の取り込み中、本機への転送処理中）にパソコンがスリープ／スタンバイ／休止状態へ移行すると、データが失われたり、SonicStageが正常に復帰しない場合がありますのでご注意ください。

本機をパソコンと接続し、SonicStageに取り込んだ曲を本機に転送します。
曲は、必ずSonicStageを使って本機に転送してください。Windowsのエクスプローラを使って転送した曲は、本機で再生できません。

お使いのパソコンに本機を直接接続できない場合は

専用USB接続補助ケーブルPC-U002を補修部品(有償)としてご用意しています。詳しくは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口へお問い合わせください。また、USBロゴのついたセルフパワーのUSBハブでもご使用になれます。

1 デスクトップの SonicStage アイコンをダブルクリックする。
SonicStageが起動します。

2 本機のUSB端子をパソコンに接続する。
USBキャップを取りはずし、USB端子をパソコンと接続します。

3 [音楽を転送する]にポインタを合わせ、[ATRAC Audio Device]を選ぶ。

4 転送する曲やアルバムを選ぶ。

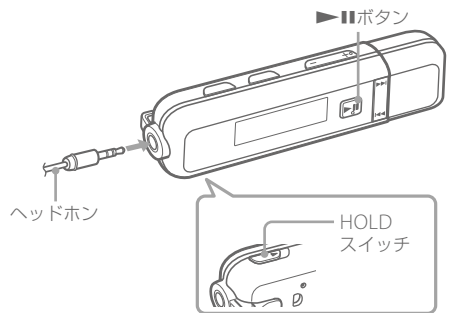
5 [→] をクリックする。
転送が始まります。
転送が終わると、画面右側に転送した曲やアルバムが表示されます。
転送を途中で止めるには、[■] をクリックします。

ご注意

- 本機をパソコンに接続しているときに、無理な力を加えないでください。本機やパソコンが破損することがあります。
- 転送中は、本機をパソコンからはずさないでください。
- 電源を接続していないノートパソコンと本機を接続した場合、ノートパソコンのバッテリーが消耗します。本機を接続したまま長時間放置しないでください。

ヒント

- SonicStageで、ジャケット写真を登録すると、本機に音楽を転送したときに本機でジャケット写真が表示できます。ジャケット写真の登録の方法については、SonicStageのヘルプをご覧ください。
- SonicStageでは、好きな曲をまとめたプレイリストを作成し、転送できます。SonicStageの表示モードでプレイリストを選んで表示し、転送してください。

SonicStageを使って転送した曲を本機で再生できます。

1 **ホールドが解除されていることを確認する。**
HOLDスイッチを矢印（▷）と逆の方向にスライドするとホールドが解除されます。

2 **►❚❚ボタンを押す。**
表示部に►が表示され、再生が始まります。もう1度押すと❚❚が表示され、再生が一時停止します。数秒後に「POWER OFF」が表示され、自動的に画面表示が消えて再生待機状態になります。

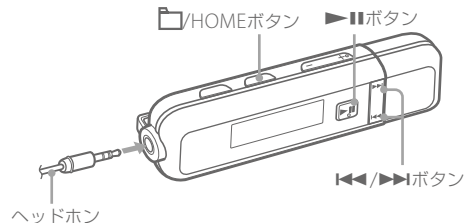
ヒント

- 本機では以下の操作もできます。詳しくは、「詳細操作ガイド（PDF）」の「再生する」や「設定する」の章をご覧ください。
  - 曲の並び順を、アルバム順やアーティスト順、ジャンル順に変更する。
  - リピートやシャッフル再生をする。
  - 音質を好みに合わせて調整する。

曲を削除する

本機内の曲を削除する場合は、SonicStage上で行ってください。
詳しくは、SonicStageのヘルプをご覧ください。

FMラジオ放送を楽しむ

本機のFMラジオでは、FMラジオ放送とテレビ放送（1 ～ 3チャンネル）を楽しめます。ヘッドホンのコードがアンテナとして働きます。コードをできるだけ長く伸ばしてお使いください。

1 ホームメニューが表示されるまで/HOMEボタンを押したままにする。

2 I◄◄/►►Iボタンで(FM)を選び、►IIボタンを押して決定する。

3 ホームメニューが表示されるまで/HOMEボタンを押したままにする。

4 I◄◄/►►Iボタンで(Settings)を選び、►IIボタンを押して決定する。

5 I◄◄/►►Iボタンで「FM Auto Preset>」を選び、►IIボタンを押して決定する。

6 I◄◄/►►Iボタンで「OK」を選び、►IIボタンを押して決定する。
受信できる低い周波数の放送局から順番にプリセット登録されます。
登録が終了すると「COMPLETE」と表示され、いちばん最初に登録された放送局を受信します。

7 /HOMEボタンを押して、プリセット選局モードを選ぶ。
/HOMEボタンを押すたびに、マニュアル選局モードとプリセット選局モードが切り換わります。

8 I◄◄/►►Iボタンでお好みのプリセット番号を選ぶ。
選んだ放送局を受信します。

ヒント

- ホームメニューで FM を選ぶとFMラジオ画面が表示されます。放送曲をプリセット登録した後は、FMラジオ画面から登録したプリセット番号で放送局を選んで、FMラジオ放送を聞くことができます。
- FMラジオ放送の操作について詳しくは、「詳細操作ガイド（PDF）」の「FMラジオ放送を聞く」の章をご覧ください。

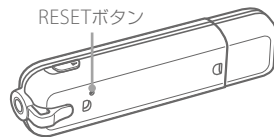
地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

故障かな？と思ったら

サービス窓口にご相談になる前に、以下の手順に従ってください。

1 「故障かな？と思ったら」の各項目で調べる。

2 パソコンに接続して、充電する。
充電することで問題が解決することがあります。

3 クリップなどの細い棒で、RESETボタンを押す。
動作中にRESETボタンを押すと、本機に保存しているデータや設定が消去される場合があります。

4 SonicStageを使用しているときは、SonicStageのヘルプで調べる。

5 「ウォークマン カスタマーサポート」のホームページで調べる。
http://www.sony.co.jp/walkman-support/

6 手順1 ～ 5を確認しても問題が解決しないときは、ソニーの相談窓口（☞最終ページ）またはお買い上げ店に相談する。

表中の（PDF☞XXページ）は、「詳細操作ガイド（PDF）」の参照ページです。

本体の操作

症状	原因/処置
再生音が出ない	● 音量がゼロになっている。 →音量を上げてください（☞8ページ）。 ● ヘッドホンや延長コードがしっかり差し込まれていない。 →ヘッドホンジャックにしっかり差し込んでください（☞9ページ）。 ● ヘッドホンのプラグが汚れている。 →乾いた布でプラグの汚れをふきとってください。 ● 曲が入っていない。 →「NO DATA」と表示されているときは、パソコンから音楽データを転送してください。
再生できない	● 付属のSonicStageを使わずに、パソコンから曲を転送した。 →SonicStageを使って転送してください。 ● 電池が消耗している。 →充分に充電してください（☞14ページ）。 →充電しても反応しない場合は、RESETボタンを押して本機をリセットしてください（☞26ページ）。
転送したアルバムが、複数になって表示される	● コンピレーションアルバムをSonicStageでパソコンに取り込む場合、複数のアルバムとして取り込まれることがあります。その場合は、SonicStageで一つのアルバムになるように編集してから、本機に転送し直してください。編集について詳しくは、SonicStageのヘルプをご覧ください。

次のページにつづく ☞

症状	原因/処置
雑音が入る	● 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。 →携帯電話などを本機から離して使用してください。 ● CDなどから取り込んだ曲が破損している。 →本機をパソコンに接続して、雑音の入る曲をSonicStageで削除してください。 再度パソコンに曲を取り込み、本機に転送し直してください。曲を取り込むときは、その他の作業を中止してください。データが破損する原因となることがあります。
ボタン操作に反応しない	● HOLDスイッチが矢印の方向（▷）にスライドしている。 →HOLDスイッチを矢印と逆の方向にスライドしてください（☞10ページ）。 ● スタイルアップ®パネルが正しく取り付けられていない。 →スタイルアップ®パネルを正しく取り付けてください（☞6ページ）。 ● 結露している。 →そのまま約2、3時間おいてください。 ● 電池の残量が少ない、または消耗している。 →本機を起動中のパソコンに接続するなどして、充分に充電してください（☞14ページ）。 →充電しても反応しない場合は、RESETボタンを押して本機をリセットしてください（☞26ページ）。 ● 本機はUSB接続中は操作できません。パソコンとの接続をはずして操作してください。
曲を停止できない	● 本機では、再生の停止は一時停止になります。►❚❚ボタンを押すと、❚❚が表示され、再生を一時停止します。

症状	原因/処置
本機が動作しない	● 電池の残量が少ない、または消耗している。 →本機を起動中のパソコンに接続するなどして、充分に充電してください（☞14ページ）。 →充電しても反応しない場合は、RESETボタンを押して本機をリセットしてください（☞26ページ）。
転送した曲が見つからない	● Windowsのエクスプローラで、本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）した。 →本機上で、内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）してください（☞38ページ）。 ● 転送中、パソコンから本機が抜けた。 →使用可能なファイルをパソコンに戻し、本機上で、本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）してください（☞38ページ）。
再生音が大きくならない	● AVLSが設定されている。 →AVLS設定を解除してください（PDF☞46ページ）。
右チャンネルから音が出ない または右チャンネルの音が左右両方のヘッドホンから聞こえる	● ヘッドホンや延長コードが正しく差し込まれていない。 →正しく接続されていないと再生音が正常に聞こえません。「カチッ」と音がするまで差し込んでください（☞9ページ）。
再生していたら 急に音が止まった	● 電池の残量が少ない、または消耗している。 →本機を起動中のパソコンに接続するなどして、充分に充電してください（☞14ページ）。
本機で初期化（フォーマット）できない	● 電池の残量が少ないか、充分ではない。 →本機を起動中のパソコンに接続するなどして、充分に充電してください（☞14ページ）。

次のページにつづく ☞

表示部

症状	原因/処置
画面に「□」と表示される	• 本機で表示できない文字が使用されている。 ➔ 付属のSonicStageソフトウェアを使って本機で表示可能な別の文字に置き換えてください。
メッセージが出ている	• メッセージ一覧をご覧ください（PDF☞88ページ）。

電源

症状	原因/処置
電池の持続時間が短い	• 5℃以下の環境で使用している。 ➔ 電池の特性によるもので故障ではありません。 • 充電時間が足りない。 ➔ Full が表示されるまで充電してください。 ➔ 本機のUSB接続方法（USB Bus Powered）が「Low-Power 100mA」になっている場合は、長めに充電してください（PDF☞72ページ）。 • 本機の設定変更や電源管理を適切に行うことで、電池の使用量を節約し長時間使用できます（PDF☞73ページ）。 • 本機を長時間使用していなかった。 ➔何回か充放電を行うと、電池性能が回復します。 • 電池を充分に充電しても、使える時間がお買い上げ時の半分くらいになったときは電池が劣化しています。 ➔ソニーサービス窓口にお問い合わせください。

症状	原因/処置
充電できない	• 本機がきちんとパソコンのUSBコネクタに接続されていない。 ➔ 本機をいったん抜いて、接続し直してください。 • 5℃～ 35℃の範囲外の環境で充電している。 ➔ 5℃～ 35℃の環境で充電してください。 • パソコンの電源が入っていない。 ➔ パソコンの電源を入れてください。 • パソコンがスタンバイ（スリープ）、休止状態に入っている。 ➔ パソコンのスタンバイ（スリープ）、休止状態を解除してください。
本機の電源が自動的に切れた	• 一時停止状態のままにしていた。 ➔ いずれかのボタンを押すと電源が入ります。
充電がすぐに終わる	• 満充電に近い場合、すぐに充電が終わります。

次のページにつづく ☞

パソコンとの接続/SonicStage

症状	原因/処置
インストールできない	● 対応のOS以外のOSを使っている。 ➔ パソコンの動作環境を確認してください（☞裏表紙）。 ● すべてのWindowsのソフトウェアを終了していない。 ➔ ほかのソフトウェアが起動した状態でインストールを行うと、不具合が生じることがあります。特にウィルスチェックソフトウェアは負担が大きいため、必ず終了してください。 ● ハードディスクの空き容量が足りない。 ➔ ハードディスクの空き容量は200MB以上必要なため、不要なファイルなどを削除してください。 ● Administrator権限またはコンピュータの管理者以外でログオンしている。 ➔ Administrator権限またはコンピュータの管理者でログオンしていない場合、インストールできないことがあります。Administrator権限またはコンピュータの管理者でログオンしてください。また、ユーザー名に全角文字をご使用の場合は、半角英数字のユーザー名で新規のアカウントを作成してください。 ● メッセージダイアログがインストール画面の後ろに隠れていて、インストール作業が止まっているように見える場合がある。 ➔ [Alt]キーを押しながら[Tab]キーを数回押してください。ダイアログが表示されたら、メッセージに従って操作してください。 ● 日本語以外のOSを使っている。 ➔ 日本語OS以外にはインストールできません。

症状	原因/処置
インストールしようとするとパソコンにエラーメッセージが表示される	● パソコンの動作環境を確認してください（☞裏表紙）。
付属のCD-ROMを入れても自動的に起動しない	● お使いのパソコンの設定によっては、CD-ROMを入れてもインストーラーが起動しない場合があります。 ➔ WindowsエクスプローラでCD-ROMドライブを右クリックして開き、SetupSS.exeをダブルクリックして実行してください。インストール時のメインメニューが表示されます。
インストール時に画面上のバーが動いていない。 または、ハードディスクのアクセスランプが数分間点灯していない	● インストール作業は正常に行われているため、そのままお待ちください。お使いのパソコンによっては、インストール終了まで30分以上かかる場合があります。
SonicStageが起動しない	● WindowsのOSをバージョンアップするなど、パソコン環境を変更すると、起動しない場合があります。「ウォークマン カスタマーサポート」（http://www.sony.co.jp/walkman-support/）のホームページで調べてください。
SonicStageで一部の機能が制限される	● Administrator権限またはコンピュータの管理者でログオンしていない場合、一部の機能が制限されることがあります。Administrator権限またはコンピュータの管理者でログオンしてください。

次のページにつづく ☞

症状	原因/処置
本機をパソコンにつないでも、本機の表示窓に「USB CONNECT」と表示されない	● USB端子がきちんとパソコンのUSBコネクタに接続されていない。 →本機をいったん抜いて、接続し直してください。 ● USBハブを使用している。 →USBハブを使用していると、表示されない場合があります。パソコンのUSBコネクタに直接接続するか、専用USB接続補助ケーブル（有償）を使用してください。 ● SonicStageの認証を行うために、時間がかかる場合があります。しばらくお待ちください。 ● パソコン上でほかのソフトウェアが起動している。 →しばらくしてから、本機を接続し直してください。それでも解決しない場合は、本機を抜いてからパソコンを再起動してください。 ● 本機のUSB接続方法（USB Bus Powered）が「High-Power 500mA」になっている。 →USB接続方法（USB Bus Powered）を「Low-Power 100mA」にしてください（PDF☞53ページ）。 ● ソフトウェアのインストールに失敗している。 →付属のCD-ROMに入っているインストーラーを使ってもう一度ソフトウェアをインストールしてください。取り込んだ音楽データは引き継がれます。
本機がパソコンに認識されない	● USB端子がきちんとパソコンのUSBコネクタに接続されていない。 →本機をいったん抜いて、接続し直してください。 ● USBハブを使用している。 →USBハブを使用していると、認識されない場合があります。パソコンのUSBコネクタに直接接続するか、専用USB接続補助ケーブル（有償）を使用してください。 ● 接続しているUSBコネクタに不具合がある可能性があります。パソコンの別のUSBコネクタに接続してみてください。

症状	原因/処置
転送できない	● 静電気等のノイズにより転送が止まることがあります。これは音楽情報を守るためです。 →本機をいったん抜いて、接続し直してください。 ● USB端子がきちんとパソコンのUSBコネクタに接続されていない。表示部に「DATA ACCESS」または「USB CONNECT」と表示されているか確認してください。 →本機をいったん抜いて、接続し直してください。 ● 本機の空き容量が不足している。 →本機をパソコンに接続して、聞かなくなった曲をSonicStageで削除し、本機の空き容量を増やしてください。 ● 本機に転送できる曲数は、65,535曲、転送できるプレイリストは、8,192です。それを超える曲数またはプレイリストは転送できません。また、1プレイリストにつき999曲を超える曲数は転送できません。 ● 再生期間や再生回数などの再生制限のついた曲は、著作権者の意向により本機に転送できない場合があります。それぞれの曲に関する設定内容については、配信者にお問い合わせください。 ● SonicStage以外のソフトウェアを使って、CDなどから取り込んだ著作権保護のかかっているWMAファイル、AACファイルはSonicStageへ取り込んでも、フォーマット変換できないため、本機へ転送できません。 ● 本機に異常のあるデータが入っている。 →必要なデータをSonicStageに戻し、本機を初期化（フォーマット）してください（☞38ページ）。

次のページにつづく ☞

症状	原因/処置
転送できない（つづき）	● 付属のSonicStageを使っていない。 ➔ 付属のSonicStageをインストールして、データを転送してください。 ● データが破損している。 ➔ 本機をパソコンに接続して、破損しているデータをSonicStageで削除し、もう一度そのデータを取り込み直してください。パソコンにデータを取り込むときは、その他の作業を中止してください。データが破損する原因となることがあります。
転送できる曲数が少ない	● 本機の空き容量が不足している。 ➔ 本機をパソコンに接続して、聞かなくなった曲をSonicStageで削除し、本機の空き容量を増やしてください。 ● 本機に音楽以外のデータが入っている。 ➔ 本機に音楽以外のデータが入っていると、転送できる曲数が減ります。音楽以外のデータをパソコンに移動するなどして、本機の空き容量を増やしてください。
パソコンに曲を戻せない	● 転送したパソコンと異なるパソコンに曲を戻そうとしている。 ➔ 転送したパソコンと異なるパソコンには曲を戻せません。曲を転送したパソコンへ曲を戻してください。パソコンに曲を戻せず本機の曲を削除する場合は、SonicStageで曲を選んで をクリックして削除してください。 ● 転送元のパソコンで曲を削除した。 ➔ 転送元のパソコンで曲を削除すると、曲を戻せません。
パソコン接続中の 動作が安定しない	● USBハブ、またはUSB延長ケーブルを使用している。 ➔ USBハブ、またはUSB延長ケーブルを使用すると、動作が安定しないことがあります。パソコンのUSBコネクタに直接接続するか、専用USB接続補助ケーブル（有償）を使用してください。

FMラジオ

症状	原因/処置
FMラジオ放送が よく聞こえない	● 受信している周波数が適切でない。 ➔ 放送がもっともよく聞こえる周波数をマニュアル選局してください（PDF☞67ページ）。
雑音が多く、音が悪い	● 電波が弱い。 ➔ 建物や乗り物内では電波が弱い場合があります。窓際に近づくなどして電波の入りやすい場所を選んでください。 ● ヘッドホンのコードが伸びていない。 ➔ ヘッドホンのコードがアンテナとして働きます。できるだけ長く伸ばしてお使いください。
雑音が入る	● 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。 ➔ 携帯電話などを本機から離して使用してください。

その他

症状	原因/処置
操作時の確認音が 鳴らない	● 「Beep」の設定が「Beep OFF」になっている。 ➔ 「Beep」の設定を「Beep ON」にしてください（PDF☞47ページ）。
本体が温かくなる	● 充電中または充電直後に本体が一時的に温かくなることがあります。また、大量のデータを転送した場合も、一時的に温かくなることがあります。しばらく放置してください。
日付と時刻がリセット される	● 電池を使いきった状態で放置すると、日付と時刻がリセットされることがありますが、故障ではありません。 ➔ Full が表示されるまで充電し（☞14ページ）、日付と時刻を設定し直してください（PDF☞48ページ）。
ヘッドホンを抜き差し するとノイズが聞こえる	● ヘッドホンの抜き差しはヘッドホンを耳からはずして行ってください。音楽を再生した状態でヘッドホンを抜き差しするとヘッドホンからノイズが発生しますが、故障ではありません。

次のページにつづく ☞

本機のメモリーを初期化（フォーマット）するには

下記の手順に従って必ず本機上で行ってください。Windowsのエクスプローラではは本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）しないでください。初期化すると記録されたデータ（お買い上げ時にあらかじめインストールされているサンプルデータを含む（☞47ページ））はすべて消去されますので、初期化する前に内容を確認してください。

1 一時停止中に、ホームメニューが表示されるまで□/HOMEボタンを押したままにする。

2 (Settings)－「Advanced Settings>」－「Initialize>」－「Format>」－「OK」の順に選ぶ。

⏮/⏭ボタンで項目を選び、▶❚❚ボタンを押して決定します。
「OK」を選んで決定すると、「FORMATTING…」が表示され、初期化が始まります。初期化が終了すると、「COMPLETE」と表示されます。

使用上のご注意

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

充電について

- 充電時間は電池の使用状態により異なります。
- 電池を充分に充電しても使える時間が通常の半分くらいになったときは、電池が劣化していると思われます。ソニーサービス窓口へお問い合わせください。

本機の取り扱いについて

- 落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけないでください。本機の故障の原因となります。
- 以下のような場所に置かないでください。
  - 直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高いところ
    変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
  - ダッシュボードや、炎天下で窓を閉め切った自動車内（とくに夏季）
  - ホコリの多いところ
  - ぐらついた台の上や傾いたところ
  - 振動の多いところ
  - 風呂場など、湿気の多いところ
  - 磁石、スピーカーボックス、テレビなど、磁気を帯びたものの近く
- ラジオやテレビの音に雑音が入るときは、本機の電源を切って、本機をラジオやテレビから離してください。
- 付属のヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはソニーの相談窓口（☞最終ページ）に相談してください。

次のページにつづく ☞

- 本機をお使いになるときは、キャビネットの変形や故障を防ぐために、次のことを必ずお守りください。
  －本機をズボンなどの後ろのポケットに入れて座らない。

  －本体にヘッドホンを巻き付けたまま、かばんの中に入れ、外から大きな力を加えない。

- 水がかからないようご注意ください。本機は防水仕様ではありません。特に以下の場合ご注意ください。
  －洗面所などでポケットに入れての使用
  身体をかがめたときなどに落として水濡れの原因となる場合があります。
  －雨や雪、湿度の多い場所での使用
  －汗をかく状況での使用
  濡れた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れると水濡れの原因となる場合があります。

- ヘッドホンを本体からはずすときは、ヘッドホンのプラグを持ってはずしてください。コードを持って引っ張ると断線の原因となる場合があります。
- イヤーピースは長期の使用・保存により劣化する恐れがあります。

ご使用について

- 自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながら使用しないでください。運転中以外でも、踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使わないでください。
- ストラップ（別売り）をつけてご使用する場合は、ストラップが引っかかると危険ですので、ご注意ください。また、振り回すと人にぶつかることもあり危険ですので、ご注意ください。
- 飛行機内で使用する際は、離着陸時など機内のアナウンスに従ってご使用をお控えください。
- 本機を寒い場所から急に暖かいところに持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が生じることがあります。結露とは、空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。
  結露が生じたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。そのままご使用になると故障の原因になります。

液晶画面について

- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがありますが、異常ではありません。
- 寒い場所や暑い場所ではコントラストが変化することがあります。

お手入れ

本体表面の汚れは

- 柔らかい布（市販のめがね拭きなど）で拭いてください。
- 汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液をしめらせた布で拭いてください。
- シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。
- 内部に水が入らないようにご注意ください。

ヘッドホンプラグのお手入れについて

ヘッドホンプラグが汚れていると雑音や音飛びの原因になることがあります。常によい音でお聞きいただくために、ヘッドホンの先端のプラグ部をときどき柔らかい布で乾拭きしてください。

イヤーピースのお手入れについて

ヘッドホンからイヤーピースをはずし、うすめた中性洗剤で手洗いしてください。洗浄後は、水気をよく拭いてからご使用ください。

重要なお知らせ

- 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
- 本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。
- 本機に付属のソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
- 本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- 本機に付属していないソフトウェアを使用した際の動作は保証しておりません。
- 本機に付属のソフトウェア上で表示できる言語は、パソコンにインストールされているOSによって異なります。お使いのパソコンのOSが、表示したい言語に対応しているかどうかをご確認ください。
  - 言語によっては、このソフトウェア上で正しく表示できない場合があります。
  - ユーザー定義の文字や特殊な記号は表示されない場合があります。

- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品およびパソコンの不具合により、録音やダウンロードができなかった場合、および音楽データが破損または消去された場合、データの内容の補償については、ご容赦ください。
- 以下の理由により、一部の文字や記号が本機上で正しく表示されない場合があります。
  - パソコンに接続しているポータブルプレーヤーの性能。
  - パソコンに接続しているポータブルプレーヤーが正常に動作していない。
  - コンテンツやファイルの情報が、ポータブルプレーヤーでサポートされていない言語や記号で書かれている。

主な仕様

再生できる音楽ファイルの種類（対応ビットレートとサンプリング周波数*1）

– MP3 (MPEG-1 Audio Layer-3)
  32 ～ 320 kbps、可変ビットレート（VBR）対応、32、44.1、48 kHz
– WMA*2 (Windows Media Audio)
  32 ～ 192 kbps、可変ビットレート（VBR）対応、44.1 kHz
– ATRAC (Adaptive Transform Acoustic Coding)
  48 ～ 352 kbps（66*3、105*3、132 kbpsはATRAC3）、44.1 kHz
– AAC-LC*2 (Advanced Audio Coding Low Complexity)
  16 ～ 320 kbps、可変ビットレート（VBR）対応*4、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48 kHz
– リニアPCM
  1,411 kbps、44.1 kHz

*1 すべてのエンコーダーに対応しているわけではありません。
*2 著作権保護されたファイルは再生できません。
*3 SonicStageでは、ATRAC3 66/105 kbpsのCD録音はできません。
*4 サンプリング周波数によっては、規格外および保証外の数値も含みます。

記録できる最大曲数と時間の目安

1曲4分のATRAC形式、MP3形式およびリニアPCM形式の曲を転送した場合で計算しています。ほかの再生できる音楽ファイル形式では、増減する可能性があります。

NW-E023F		
ビットレート	曲数	時間
48 kbps	685曲	約45時間40分
64 kbps	510曲	約34時間00分
66 kbps	500曲	約33時間20分
96 kbps	340曲	約22時間40分
128 kbps	255曲	約17時間00分
132 kbps	250曲	約16時間40分
160 kbps	205曲	約13時間40分
192 kbps	170曲	約11時間20分
256 kbps	125曲	約8時間20分
320 kbps	100曲	約6時間40分
352 kbps	94曲	約6時間10分
1,411 kbps（リニアPCM）	23曲	約1時間30分

NW-E025F		
ビットレート	曲数	時間
48 kbps	1,350曲	約90時間00分
64 kbps	1,000曲	約66時間40分
66 kbps	995曲	約66時間20分
96 kbps	680曲	約45時間20分
128 kbps	515曲	約34時間20分
132 kbps	495曲	約33時間00分
160 kbps	410曲	約27時間20分
192 kbps	340曲	約22時間40分
256 kbps	255曲	約17時間00分
320 kbps	205曲	約13時間40分
352 kbps	185曲	約12時間20分
1,411 kbps（リニアPCM）	47曲	約3時間00分

NW-E026F		
ビットレート	曲数	時間
48 kbps	2,700曲	約180時間00分
64 kbps	2,000曲	約133時間20分
66 kbps	2,000曲	約133時間20分
96 kbps	1,350曲	約90時間00分
128 kbps	1,000曲	約66時間40分
132 kbps	1,000曲	約66時間40分
160 kbps	820曲	約54時間40分
192 kbps	685曲	約45時間40分
256 kbps	515曲	約34時間20分
320 kbps	410曲	約27時間20分
352 kbps	375曲	約25時間00分
1,411 kbps（リニアPCM）	94曲	約6時間10分

次のページにつづく ☞

容量（ユーザー使用可能領域）*1

NW-E023F: 1 GB（約 968 MB = 1,015,726,080 バイト）
NW-E025F: 2 GB（約 1.89 GB = 2,035,974,144 バイト）
NW-E026F: 4 GB（約 3.79 GB＝4,075,683,840 バイト）

*1 本機では、メモリーの一部をデータ管理領域として使用しているため、ユーザー使用可能領域は一般的な容量表示とは異なります。

ヘッドホン出力

- 出力
  5 mW +5 mW (16Ω)
- 周波数特性
  20 ～ 20,000 Hz（ファイル再生時、単信号測定）

FMラジオ放送受信周波数

76.0 ～ 90.0 MHz (TV*1 1 ～ 3 CH)

*1 地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機でテレビの音声を聞くことはできません。

IF (FM)

375 kHz

アンテナ

ヘッドホンコードアンテナ

インターフェース

ヘッドホン：ステレオミニ
Hi-Speed USB（USB 2.0 準拠）

動作温度

5 ～ 35℃

電源

- 内蔵リチウムイオン充電式電池使用
- USB電源（本機のUSB端子を接続して、パソコン等から供給）

充電時間

パソコンのUSBコネクタからの充電の場合
約60分

電池持続時間

省電力設定（PDF☞55ページ）が「Save ON Super」に、Sound（PDF☞29ページ）、Clear Stereo（PDF☞34ページ）、Dynamic Normalizer（PDF☞36ページ）が「OFF」に設定してあるときの目安です。周囲の温度や使用状況により、下記の持続時間は異なる場合があります。

NW-E023F/E025F/E026F	
本機の状態	
ATRAC 132 kbps再生時	約30時間
ATRAC 128 kbps再生時	約27時間
ATRAC 48 kbps再生時	約28時間
MP3 128 kbps再生時	約28時間
WMA 128 kbps再生時	約24時間
AAC 128 kbps再生時	約28時間
リニアPCM 1,411 kbps再生時	約25時間
FMラジオ放送受信中	約10時間

ディスプレイ

三行表示カラー液晶

本体寸法

81.9 × 22.1 × 13.8 mm（幅／高さ／奥行き、最大突起部含まず）

最大外形寸法

83.7 × 22.3 × 16.2 mm（幅／高さ／奥行き）

質量

約28 g（JEITA）*1

*1 電子情報技術産業協会（JEITA）の測定方法に基づいています。

サンプル曲について

本機は、あらかじめ試聴用楽曲データをプリインストールしております。
楽曲を削除される場合は、SonicStage上で行ってください。
一度削除したサンプル曲は元に戻せません。また、新たにサンプル曲の提供はいたしませんのでご了承ください。

商標について

- SonicStageおよびそのロゴはソニー株式会社の登録商標です。
- OpenMG、ATRAC、ATRAC3、ATRAC3plusおよびそれぞれのロゴはソニー株式会社の商標です。
- “ウォークマン”、“WALKMAN”、“WALKMAN”ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- MicrosoftおよびWindows、Windows Vista、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- Adobe、Adobe ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- MacintoshはApple Inc.の商標です。
- PentiumはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- “スタイルアップ”は、ソニーエリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- 本機はドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。
- その他のシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの商標あるいは登録商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft Corporation. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft or an authorized Microsoft subsidiary.

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？と思ったら」（☞26ページ）と「詳細操作ガイド（PDF）」をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、デジタルミュージックプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や、**技術的なご質問、故障と思われるときのご相談**については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- **ホームページで調べるには⇨ウォークマン カスタマーサポートへ**
  (http://www.sony.co.jp/walkman-support/)
  デジタルミュージックプレーヤーに関する最新サポート情報や、その他よくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。
  ※本機へ曲を転送できる機器との接続に関する詳細情報につきましても上記ホームページをご確認ください。
- **電話・FAXでのお問い合わせは⇨ ソニーの相談窓口へ(下記電話・FAX番号)**
  お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。
  ◆セット本体に関するご質問時:
  - 型名:NW-E023F/E025F/E026F
  - 製造(シリアル)番号:本体裏面に記載
  - ご相談内容:できるだけ詳しく
  - お買い上げ年月日

  ◆付属のソフトウェアに関連するご質問時:
  質問の内容によっては、お客様のシステム環境についてご質問させていただく場合があります。上記内容に加えて、システム環境を事前にわかる範囲でご確認いただき、お知らせください。

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。**http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口	フリーダイヤル	0120-333-020
	携帯電話・PHS・一部のIP電話	0466-31-2511
修理相談窓口	フリーダイヤル	0120-222-330
	携帯電話・PHS・一部のIP電話	0466-31-2531

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「300」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX(共通) 0120-333-389
受付時間
月〜金:9:00〜20:00
土・日・祝日:9:00〜17:00

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1